



関 幸悦 議員



早急に流雪溝整備を(里地内)

豪雪地域の当町では、冬期間の交通確保と通勤・通学をはじめとして安心して生活できる経済活動には、流雪溝整備は欠かせない事業であり急務と思う。

## 小菅・田沢・里地区の流雪溝整備

どうなっているの！

### 早急に小菅・田沢・里地区の流雪溝整備に目途をつけよ

町長…現段階で時期を明確にすることは困難です

大石田地域は今宿地区を除き完成し、横山・来迎寺地区は平成24年度完成となっている。現在、岩ヶ袋地内で工事が進んでいるが、小菅・田沢・里地域の整備は、なかなか進んでいない現状にある。今後の見通しは、

再質問 横山本郷の狭い町道の流雪溝整備が現在行われているが、完成の見通しと安全対策をどのようにとられているのか。建設主幹 今年度の補助金が7割しかこないなど財源の問題がありますが、平成24年度を目途に整備を



待てない流雪溝整備(小菅地内)

## 適正な行政運営では二重払いはおきないはず

町長…確かに二重の手間となるが、適正な事業執行です



疑惑報道にゆれた旧一中解体現場



遠藤 宏司 議員

## 失態を認めた上で 公金支出の執行を

適切に設計や工事を発注していれば、工事の二度手間と公金の二重支払いは絶対におきないはずだ。不適切な行政運営があったからではないのか。繰り返される工事の変更で、議会の承認もない公金の支出が繰り返されてきたのか。行政の失態を認め、町民に説明してから公金の支出を執行すべき。

町長 県と協議の結果、撤去が望ましいとの助言を受け判断しました。プールの底盤の撤去費は約490万円で、当初設計が変更設計に計上するかの違いだけで二重支払いにはなりません。埋め戻した土の移動については確かに二重の手間となりますが、適正な設計を行い事業を執行しており、行政の失態とは考えていません。

## 教育環境をこわす 統合を政治的に見 直すべき

大石田小と横山小は当面複式にもならず良好な教育環境の学校であり、統合すれば弊害のほうが多い。行政判断の誤りを正すことができるのは政治判断です。横山小学校を田沢小学校に統合することを見直す考えは、

町長 教育委員会は横山小学校の学校環境の良好さを認めながらも、町全体の児童数や学校設備を考慮し判断したもので、私の判断も同じです。町長として横山小学校の子どもたちに最良の教育環境を提供するために下した苦渋の決断です。



消えてしまう子どもの登校風景(横山小学校)